



# まつどの森 北部マップ 新松戸・八柱・常盤平エリア



**里やまって な～に？**

ガスや電気がなかった昔は、ご飯をたくのもお風呂をわかすのもマキを使いました。家を建てるのも道具を作るのも、森の木や竹をつかいました。森の落ち葉は田んぼや畑の肥料にもなりました。

そんなふうにとびとの生活にかかせない身近で大切な森は「里山」とよばれています。松戸にもひと昔前までは里山がたくさんあったのですが、今はほとんど住宅や道路などになっています。私たちボランティアは、残り少ない小さな里山のなごりの森を「里やま」と呼んで、いつくしんでいます。



# まつどの森 南部マップ 秋山・東松戸・松飛台エリア



運動日には  
森の入り口に  
旗の旗が立っているよ！

**Column**

**里やまボランティアの独り言**

遅鐘してヒマだから「里やま講座」を受けた。仲間ができて森の活動を始めた。それまで、森を整備するなんて、思ってもいなかった。

春は新緑、夏は木立の涼風、秋は舞い散る落葉、冬は木もれ陽の中に小鳥のさえずり。身近な自然の中で心地よい汗をかける。時には枯木を伐採。ドーンと大地のドラムが響き、一気に明るく輝きながら射しこむ。雲に帰ってビールがうまい。

イベントの日には、子どもたちの歓声がこだまする。虫を見つけた目が輝いている。心が若返る。木や竹で工作、フキノトウやタケノコ、きのこ、山グリなども楽し。この素晴らしいあじを いつまでも残したい。

(N)

●←：森の入口